

融雪剤の塩害を防ぐために 下回りの錆止め塗装を!!



寒さが厳しくなってきた今日この頃ですが冬といえば雪、今年は多いと言う人もいれば少ないと言う人もいます。そんな雪ですが車にとっては事故の原因になるとことがあります。雪でスリップして止まれなくなり、追突や交差点での事故を起こしてしまう場合があります。そんな事故を防ぐために、融雪剤を道路にまく時がありますね。その融雪剤が車にとっては悪影響で錆の原因になり、下回りの重要な部品やボディが腐食し、部品が折れたり穴が空いたりする場合があります。そんな錆を防ぐために下回りの錆止め塗装をおすすめします。錆止め塗装には2種類あり、下回り全体を塗る塩害塗装と、重要部品だけを塗るシャシ塗装があります。塩害塗装は新車時の錆がない状態に塗るのが効果的で、シャシ塗装は車検ごとに塗ることで、数十年前までは必ずやっていたのをご存知の方もいらっしゃる



車体が錆びてしまった残念な事例

と思います。近年では、車齢が伸びているという事です、お気に入りの車を長く乗りたいた方は両方の塗装をやっていただいた方が長持ちの秘訣です、詳しくお知りになりたい方は、お気軽にお声がけください。(小野)

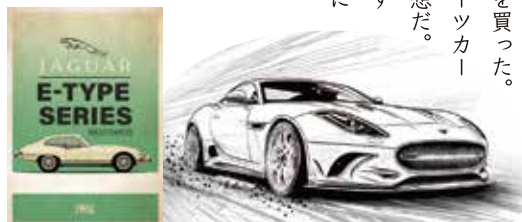
お客様 特別寄稿

関東に住んでいた義理の兄弟がジャガーを買った。二〇〇〇年頃だったか、日本の道路はスポーツカーが走れる所ではない。スポーツカーに可哀想だ。所以、ジャガー、毎年修理しなければならず八年間我慢したが終には山形の義理の兄弟に譲ってしまった。譲られた彼も、処分してしまっただけで、イギリスの車社会は、外国資本が支えている様だが世界的な会社も経営が変わる事は、当たり前になってきている様です。山形のワイン会社等も県外の大きな資本に飲み込まれています。所以、現在、ジャガーを持っている人は、いるだろうか、名前さえ知らない人がほとんどだと思います。

回顧録

第9回

ジャガー 松田 魏 (画家)



新しい年! 新しい希望!!

2024年が始まりました。今年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」という事で諸説いろいろあると思いますが、「はじまりの地点に立ち、殻を破って勢よく成長していく年」とあります。年頭からいろんな出来事があり、今年はどうなるのかと期待や不安など様々頭の中をよぎったスタートになったのではないのでしょうか。我々整備業界も新たな取り組みや制度が変わる年となってきます。

日々お客様にご迷惑をお掛けしないよう心がけておりますが、新技術や情報が早く、そんな物事をキャッチするのも大変だと年齢を重ねる毎に感じております。それにしても雪が降らず快適だと思いつつ、昨年の冬に仕入れた除雪車が稼働せずに眠っております。準備万端と思いきや嬉しいような悲しいような、そんな思いをしたことはないでしょうか? 重機は「動いてこそ」なので、活躍の場が欲しかったとそんな思いを浮かべると大雪になりそうなので止めますが、朝晩は大分冷え込みますので、走行には十分注意して頂きたく、慌てずに時間に余裕を持って出発してください。

冬用のワイパーは雪が有る無しに関わらずご用意して頂ければと思います。弊社ではいつでも対応できるように常時準備しております。(輸入車など一部



対応できないものもあります) 今年も皆様の愛車を含め、良い1年になりますように、切に願っております。社員一同全力で、安心・安全を

新しい一年の初めに…… 念頭に頑張ってもらいますので、今年も社長のぼやき?? よろしくお願いたします。(三澤)

Instagram QR code and social media info for ASAHIJIDOSYA.

電気自動車! 試乗車あります

車のこと、なんでもお気軽にご相談ください

あさひ通信

第26号

2024年1月発行

発行 旭自動車株式会社
代表取締役 三澤 潤
〒990-2441
山形市南一番町 1-36
TEL 023-631-9366
FAX 023-642-3569

編集 フロント/小野
メカニック/川越・佐藤

～愛車紹介～

バイクが趣味な自分は今SR400、旧レブルと2台所持しています。そこに新しいバイクを購入しました! HONDA シャリーっと言うバイクです。バイクが高騰している中お手頃に乗えた1台になります。このバイクは50CCの原付になるのですが、たかが原付されど原付…。高い物は余裕で50万を超える原付バイクも沢山あります。投資でバイクを買って行く人居るそうです。正直、自分もそんな感じで買った様なものですが、これからシャコタンにして太いホイール履いてマフラー変えてカッコ良くして行きたいと思っております。(佐藤)



新しいリールに交換!



暖冬の影響で雪が少ないので釣りに行けるんじゃないかと思っている今日この頃です。自分は釣りが趣味でリールと言う釣り糸を巻き取る道具があります。そのリールが調子が悪くて某大手釣り具屋さんに部品の在庫があるか確認してもらったら、お客様のお使いになってるリールの部品はもう生産していないので在庫がないとのこととやっぱ無いかあーと思っていたので買ってから約20年間使い続けてきたリールを今年発売する最新の同じモデルのリールに買い替えることにしました。愛着があってもカスタムしたりして気に入っていたので残念ですが今は新しいリールを使うのが楽しみです。(川越)